

# 家康の散歩道にチャレンジ!



家康公の浜松時代をたどる歴史散策ルート「家康の散歩道」。浜松城をはじめ、浜松八幡宮や浜松元城町東照宮などのパワースポットのほか、家康公の試練や悲哀を伝えるポイントも。全距離約10km、所要時間は徒歩2~3時間ほど。半日かけてウォーキング感覚で楽しもう。

モデル/南沙季さん(左) 宇野遊倉さん(右)



## 1 徳川秀忠公誕生の井戸



### 家康公の三男、徳川秀忠公出生の地

家康公の側室 西郷局が秀忠公を生んだとき、この辺りにあった井戸水が産湯として使われたという伝承をもとに復元された井戸。秀忠公が誕生した天正7年(1579)の当時は、ここに下屋敷が構えられていた。秀忠公は江戸幕府2代将軍となる人物である。

※出生地とされる場所は2説あり、もう1説は現在のクリエート浜松西側付近であり、新川交番北側に石碑が設置されている。

秀忠公は浜松生まれ唯一の天下人!!

徒歩9分(641m)

徒歩2分(150m)

## 遠江分器稲荷神社

家康公が浜松に入った永禄11年(1568)に創建され、戦火前の社殿は家康公の命により慶長9年(1604)に建てられたと伝わる。家康公の浜松城入城後、城下町は発展し、多くの商人で賑わっており、遠江分器稲荷神社は衣食住・土農工商の各分野の守護神として厚く信仰されてきた。今もなお商売人をはじめ地元の人々から崇敬されている。



## 2 浜松八幡宮

### 家康公を守った、伝説の御神木があるお社

勝運や立身出世・安産・長寿などの神様として「八幡さま」と親しまれ、多くの人々が参拝に訪れる浜松八幡宮。境内にそびえるクスノキ「雲立の楠」は、根回り約15m、樹高約15mの巨樹で、樹齢1,000年を超える。幹の下部には大きな空洞があり、三方ヶ原の合戦で敗走してきた家康公はこの洞穴に逃げ込み、難を逃れたと伝わる。その際、洞穴で一心に八幡神を拝すると、瑞雲が立ち昇り、神霊が白馬にまたがった老翁となって家康公を浜松城へと導いたという伝説がある。現在、このクスノキは静岡県天然記念物として大切にされている。

浜松市中区八幡町2 ☎053-461-3429 <http://www.hamamatsuhachimangu.org/>



すこく大きいパワーを感じる~!

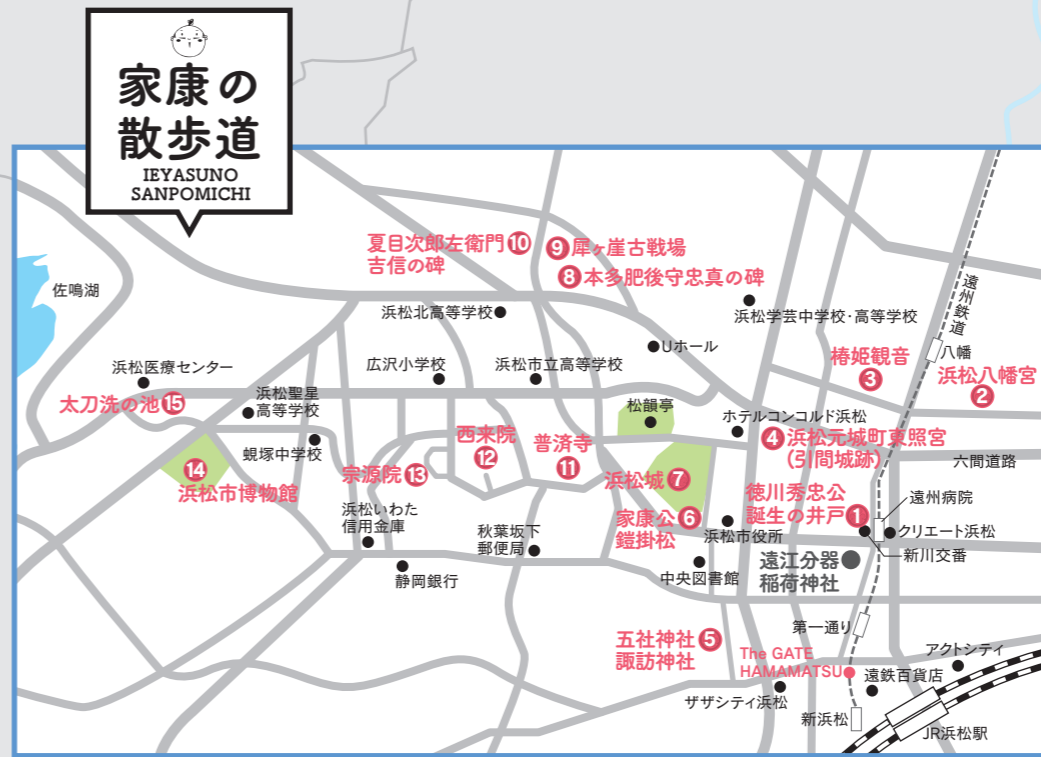
神聖な空気が気持ちいい!

## 3 椿姫観音

椿姫とは、家康公に城を攻め落とされ討ち死にした、引間城の女城主・お田鶴の方のこと。その死を哀れに思った家康公の正室・築山御前※が100株余りの椿を植えてお田鶴の方を祀ったことから、椿姫観音と呼ばれている。椿は毎年美しく咲き誇り、いつしか椿塚と呼ばれ、それが椿姫の名の由来になったと言われている。

※お田鶴の方と築山御前の母同士は義理の姉妹にあたる。

徒歩5分(400m)



浜松は家康公のお膝元。青壮年期の17年間を過ごした地域ゆえ、たくさんのゆかりの地がある。天下を取るための重要拠点だったことを物語る城跡は、確認されているだけで100を超える。ここでは多数ある家康公にまつわる史跡や名所の一部を見てみよう。

拡大



浜松城築城  
450<sup>th</sup>  
ゆかりの地  
家康公